

■ 茨城交通(株)が路線バス事業に下記サービスを導入するにあたり、道路運送高度化実施計画を策定（全国初）。

（１）キャッシュレス決済の導入・拡充 （２）定期券等のWeb決済サービスの導入・拡充

事業主体（計画主体）

茨城交通株式会社

取組の内容

（１）キャッシュレス決済の導入・拡充

- 現行 I C カードシステムにキャッシュレス決済システム（クレジットカードタッチ決済、QRコード決済）を導入
- 水戸・日立エリアのシステムを統合し、ICカードを「いばっぴ」に統一

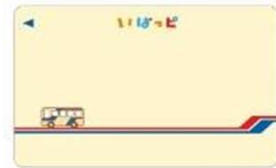
多様な決済手段に対応する決済システム



クレカタッチ決済



QRコード決済



いばっぴのサービスを拡充
日立エリアへのサービス拡大

（２）定期券等の利用者Web決済サービスの導入・拡充

- 定期券の新規申込・継続購入、I C カードのオートチャージ登録等について、利用者Web決済サービスを導入

| 利用者Web決済内容 |
|-----------------|
| 新規定期券の申込 |
| 継続定期券の更新・決済 |
| オートチャージ登録・変更・解約 |

事業の効果

運賃支払時間の短縮、窓口の混雑緩和による運送申込時間の短縮

計画実施時期

令和5年12月（予定）

対象区域

茨城県（水戸市、日立市、常陸太田市、高萩市、笠間市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町、東海村、大子町、北茨城市）

総事業費

760百万円

